

## 4 6 給油取扱所における流出事故

埼玉県内では、給油取扱所において危険物の流出事故が多く発生しています。

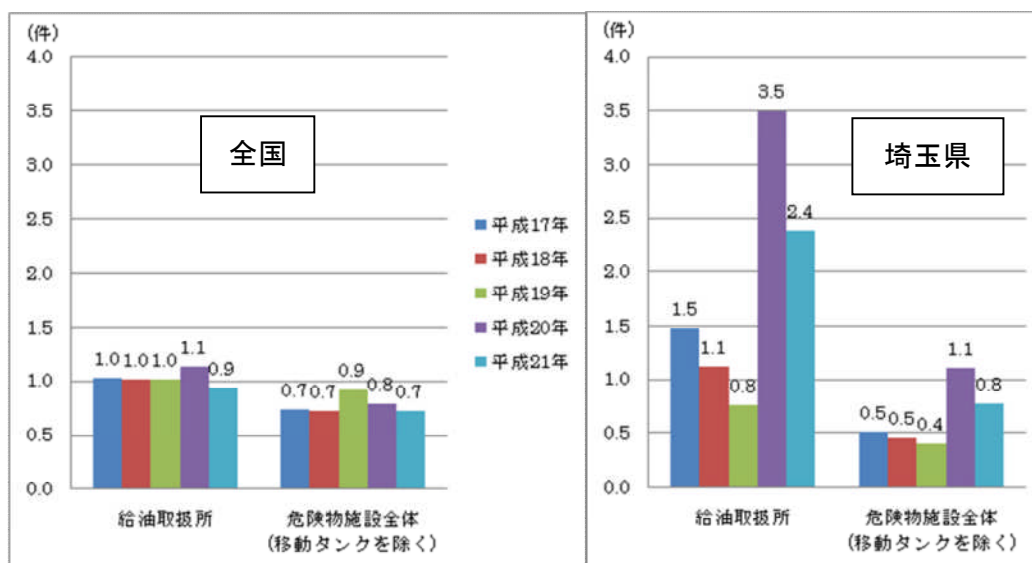


図 危険物施設 1,000 施設当たりの流出事故件数（平成 17 年～平成 21 年）

### 1 県内の給油取扱所における流出事故の典型例

- (1) 地下貯蔵タンク又は地下埋設配管が腐食等劣化し、孔の開いた箇所から流出
- (2) 顧客の車両が計量機に接触、計量機を破損させ流出
- (3) 移動タンク貯蔵所から地下貯蔵タンクに荷卸しする際、給油取扱所側の危険物取扱者の適切な立会いがなされなかったため過剰注入により流出
- (4) 従業員が顧客の車両に給油中、他の顧客の対応のため給油場所を離れていたところオートストップが作動せず給油口から流出
- (5) セルフスタンドで顧客が給油中、ノズルの挿入が浅かったためオートストップが作動せず給油口から流出

### 2 給油取扱所における流出事故を防ぐポイント

- (1) 地下貯蔵タンク及び地下埋設配管に腐食防止策を講じるとともに、在庫管理や日常点検等を徹底する。
- (2) 従業員による車両誘導を的確に行う。
- (3) 荷卸しの際は、給油取扱所側の危険物取扱者が必ず立ち会う。
- (4) 給油中は、給油場所を離れない。また、計量機の点検整備を徹底する。
- (5) セルフスタンドでは、顧客の給油作業を監視し、顧客に対して必要な指示を行う。